

◎知事(潮谷義子さん) 鞠智城の整備につきましては、本県の重要プロジェクトとして位置づけてまいりました。昭和42年度から発掘調査を開始し、さらに、平成6年度から歴史公園としての整備を進め、今日に至っております。

この整備は、九州新幹線の全線開業を間近に控え、国営公園化を進めることで、菊池川流域の活性化はもとよりですけれども、阿蘇を初め県全体にその効果は波及していくものと考えております。

洲上議員もお触れになりましたように、昨年度末には、県や山鹿市、菊池市、それぞれ国営鞠智城歴史公園設置促進期成会を立ち上げてまいりました。国営公園化に向けて、国に対し要望活動等を精力的に行っていることは御承知のとおりでございます。

鞠智城の国営公園化を推進するためには、知名度のアップとともに、文化財としての重要性の認知度を上げることが課題でございます。このため、講演会や国際シンポジウムなどの広報活動を展開しますとともに、鞠智城にゆかりが深い百済がございました韓国・忠清南道との文化交流を進めることとしております。国営公園化に向けての国際的な連携の和を広げていきたいと考えております。

関係者の御支援により、韓国からの観光客も含めて、歴史公園鞠智城への入場者は100万人を突破し、鞠智城の知名度や文化的価値の認知度も向上してきております。

また、地元選出国會議員の方々と国営公園化に関する議員連盟が設立され、2月27日には、国営公園化推進東京フォーラムを県と議員連盟で共同開催し、知名度の向上を図るとともに、関係機関へのアピールを行うこととしております。

さらに、来年度は、国庫補助事業により大規模な歴史公園整備構想を策定し、国営公園としての整備のコンセプトを明確にしますとともに、鞠智城の歴史的価値の認知向上について、戦略的に取り組んでまいりたいと考えております。

国営公園化が現実的なものとなるよう、今後も引き続き、県議会を初め関係者の御支援を心からお願いするところでございます。

〔教育長柿塚純男君登壇〕